

令和7年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

令和7年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 人員体制の確保について

介護福祉業界における人手不足はかねてから特に厳しい状況が長期化しており、法人においても常に求人の取組みを緩めることができない。現在の法人の人員体制においては、人員配置基準を満たす状態を維持してはいるものの、職員の高齢化や資格を有する職員の割合が低いことが課題となっている。今後も長く働きやすい職場づくりに向けて粘り強く職場定着策を充実することが重要である。

2 利用者の減少について

法人が運営する日中活動系事業所全般において、利用者が減少している。体調不良で通所が安定しなかったり、入院で契約解除せざるを得なくなったり、理由は多岐にわたっている。

グループホームにおいては、ご逝去された1名及び介護保険サービスへの移行1名で2件の退去があったため、空室は3室となった。新たな入居に向けて、体験入居や見学に取り組んでいるが、要件の調整など速やかな入居には至っておらず課題となっている。

3 利用者及び家族の虐待事例について

虐待防止及び権利擁護に関する研修・身体拘束等の適正化のための指針・障害者差別解消法に関する研修等人権に関する研修を定期的に行い職員の意識向上に努めた。

実際に法人が運営する事業所においても、利用者に関する虐待事例が発生し、箕面市関係部局と連携し対応を行った。「親や配偶者に対する暴力・暴言」「親や配偶者から受ける暴力や暴言」が主で、家族関係による身体的・精神的虐待が中心となっている。家族が社会から孤立せず、関係機関へ相談できる環境を整えて、虐待の芽を摘んでいく取り組みが必要である。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会開催状況(全5回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和7年4月14日(月)

第1号議案 施設長選任の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和7年5月26日(月)

第2号議案 正職員就業規則一部改正の件

第3号議案 令和6年度事業報告の件

第4号議案 令和6年度決算の件

第5号議案 令和7年度定時評議員会招集通知記載事項の件

報告第1号 職務執行状況報告の件

第6号議案 役員候補者選定の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和7年6月17日(火)

第7号議案 理事長選任の件

第8号議案 施設長選任の件

第4回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和7年12月1日(月)

第9号議案 給与規程一部改正の件

第10号議案 令和7年度補正予算(案)の件

第11号議案 かたばみ寮(共同生活援助)運営規程一部改正の件

第5回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和8年3月23日(月)

第12号議案 法令遵守責任者の業務役割規程制定の件

第13号議案 役員賠償責任保険に係る契約の件

第14号議案 令和7年度補正予算(案)の件

第15号議案 令和8年度事業計画(案)及び予算(案)の件

第16号議案 施設長選任について承認を求める件

報告第2号 職務執行状況報告の件

(2) 評議員会開催状況(全1回)

定時評議員会

開催日時: 令和7年6月17日(火)

第1号議案 令和6年度事業報告の件

第2号議案 令和6年度決算の件

第3号議案 役員選任の件

2 地域交流啓発事業及び全体事業

5月 BBQ(もみじの家 全体事業)

10月 箕面まつり出店(芦原公園 全体事業)

12月 ハートパーク(萱野北小学校ワークショップ)

2月 おもちつき(もみじの家 息吹地域交流会)

3月 ハートパーク学習会「精神科地域医療と安心な暮らし」(箕面市総合保健福祉センター分館2階講堂)

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	15人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	49人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	53人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	47人

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

精神保健福祉ボランティアこころの会、大阪バイオメディカル専門学校、神戸女学院大学、箕面市立第二中学校、箕面市立第三中学校、池田市立石橋中学校、池田市立北豊島中学校

4 会議への派遣

- ・箕面市保健医療福祉総合審議会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会

- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会
- ・(社福)箕面市社会福祉協議会評議員会
- ・(社福)箕面市社会福祉協議会地域福祉活動推進委員会
- ・(社福)箕面市社会福祉協議会ささえあい推進会議(萱野小、萱野北小)
- ・(社福)あかつき福社会評議員会
- ・(社福)あかつき福社会 地域連携推進会議
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団虐待防止及び身体拘束適正化委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団優先調達事業等調整会議
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市社会福祉法人連絡会
- ・令和7年度大阪府池田保健所精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議会
- ・第44回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会第9分科会

5 職員研修実施状況

(1) 職場研修

- ・公正採用選考人権啓発推進委員研修
- ・業務継続計画(BCP)自然災害及び新型コロナウイルス感染症発生 研修・訓練
- ・感染対策委員会 研修・訓練
- ・虐待防止及び身体拘束適正化委員会 研修
- ・障害者差別解消法 研修

(2) 主な参加研修

① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修
- ・サービス管理責任者更新研修

② 業務能力開発のための研修

- ・権利擁護部会講演会「法的な課題のある障害者(被後見人等)の支援について」

③ 人権問題及びその他の研修

- ・業務継続計画(BCP)自然災害及び新型コロナウイルス感染症発生 研修

パオみのお（相談支援事業）事業報告

1 概要

箕面市委託相談支援について、新規相談件数が増えている。

計画相談支援について、新規相談への対応が増加するなか、計画相談利用者の支援にも取り組んできた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

箕面市の委託相談支援事業所として、精神障害者の困難事例への対応を増やすよう求められている。しかし、困難事例であることから対応時間を要しコンスタントに計画相談の受任を増やすことが難しい状況である。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

箕面市地域自立支援協議会地域移行部会において、精神科病院入院患者の退院支援について、課題を洗い出し、課題解決に向けた検討を進めた。

入院が長期化しないように、院内寛解の患者について、退院後の家探し、日中活動や障害福祉サービス等の調整を行い退院につながった支援事例や、20年以上もの長期間にわたる入院患者を地域移行支援給付により退院支援した事例があった。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

パオみのおが箕面市委託相談事業所であることから、困難事例を中心に新規の相談が絶えない状況があり、件数は増え続けている。多様な相談事例において、各種関係機関と連携したチーム支援を構築することが多く、相談支援の広がりや、支援の充実につながっている。

障害福祉サービスを利用することで生活の質の向上が見込まれるものの、様々な理由でサービス利用に至らず対応が困難な場合や、障害年金の申請に係る支援のみの相談など、事例の内容が多岐にわたっている。家族や関係者からの相談も多く、当事者本人と繋がらないケースも増えている。

3 今後について

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

困難事例を中心に新規受任を増やすよう求められていることについては、職員体制を確保するとともに、職員の相談スキルの向上に向けた育成体制を充実させる必要がある。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

個別支援や地域の体制整備について、大阪府地域精神医療体制整備広域コーディネーターや自立支援協議会地域移行・定着支援部会と連携した支援を行うとともに、引き続き部会における検討を行う。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

困難事例への対応については、箕面市基幹相談支援センター等と連携して支援に当たるとともに、職員研修等を通じて能力と連携の強化に努める。障害福祉サービスが必要であるにもかかわらず、サービス利用に至っていない障害者への支援については、柔軟に利用が可能な地域活動支援センターを活用することで対応していく。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業（指定特定相談支援事業）（単位：件）

	7年度	6年度	前年度比
サービス等利用計画作成	95	102	93.1%
モニタリング	263	260	101.2%

(2) 地域相談支援事業（指定一般相談支援事業）（単位：件）

	7年度	6年度	前年度比
地域移行支援	1	0	-%
地域定着支援	0	0	-%

(3) 相談支援事業実績（箕面市地域生活支援事業）（単位：件）

	7年度	6年度	前年度比
相談支援	3,894	3,671	106.1%
生活サポート	72	30	240.0%

パオみのお（地域活動支援センター）事業報告

1 概要

新型コロナウイルス禍以降、レクリエーションなど元の活動に戻してきたが、サロン利用者数は減少したままになっている。

サロンで過ごすことが難しい利用者を対象にしたグループワークの活動は、堅調に推移している。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 相談支援事業の相談者に対してサロンの見学や紹介など情報提供をしているが、新型コロナウイルス禍以降はサロンの利用そのものが減少した状況が続いており、特定の顔ぶれの利用者が目立っている。
- (2) サロンで過ごすことが難しい利用者を対象に実施してきたグループワーク事業については、2つのグループともに月2回の活動が定着している。

3 今後について

- (1) 多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。
- (2) グループワーク事業については、2つのグループそれぞれの雰囲気に参加しやすいものに醸成して、さらに充実させることが重要である。

4 主な活動実績

- (1) 当事者活動支援 57人（前年度58人）

魁スポーツ推進振興クラブ、パオミーティング

- (2) レクリエーション活動 88人（前年度68人）

花見散策、エキスポシティ、息吹交流BBQ、箕面商店、伊丹空港、みのおキューズモール、はま寿司、万博公園、いきがいワークス作業所、多田神社初詣など

(3) 独自事業

- | | | |
|------------|-------|---------------|
| ①グループワーク事業 | 延利用者数 | 79人（前年度97人） |
| ②食事作り事業 | 延利用者数 | 285人（前年度257人） |
| ③送迎事業 | 延利用者数 | 8人（前年度7人） |

※（カッコ）内は昨年度実績

(4) 見学・実習受入状況

利用見学受入れ延べ人数	15人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	13人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	11人

5 利用者状況

(1) 利用実績

	7年度	6年度	前年比
延べ利用者数	1,805人	1,924人	93.8%
開所日数	306日	308日	99.4%
1日あたり平均利用者数	5.9人	6.3人	93.7%

(2) 登録者数

令和8年3月31日現在（単位：人）

	7年度	6年度	前年比
男性	180	181	99.4%
女性	151	146	103.4%
合計	331	327	101.2%
新規登録者数	4	4	100.0%

(3) 障害種別

令和8年3月31日現在（単位：人）

	登録数	精神	身体	知的	発達	高次脳
男性	180	158	1	10	9	2
女性	151	141	1	4	4	1
合計	331	299	2	14	13	3

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

マンションのファミリー向け住居において4つの共同生活住居を運営している。世話人や生活支援員ら職員による家事や日常生活支援を行いつつ、個別支援計画により現状を把握しながら課題認識と目的意識のある利用になるよう援助している。

高齢化による退去や亡くなった方がいたため空室が3部屋に増えており、新規入居に向けて取り組んでいる。

日中活動が消極的で滞在時間が多い入居者への対応も継続している。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)加齢とともに心身の活力が低下するフレイルによって転倒を繰り返すようになり入院退去した事例、身体疾患が原因で亡くなった事例により、年度末には空室が3部屋となった。随時、見学や体験を繰り返している。
- (2)日中活動の意欲が低下して、ひきこもる状態になっている入居者が第2かたばみ寮に集中しており、世話人の体制がない時間帯の在宅時間が長くなることが課題となっている。日中活動先事業所と連携して通所するように日々電話したり、個別支援計画に位置付けするなど繰り返し丁寧に促しているが、なかなか安定した日中活動につながらない。
- (3)両親の高齢化などの事情で実家で過ごす日が多く、グループホームで過ごすのは月に数日だけになっている入居者がおられ、家賃等の費用など負担ではないか声を掛けて利用を促しているが、こうした状況が長く続いて、報酬請求が難しくなっている課題がある。
- (4)年齢構成が60代が2名、50代が5名、40代が3名となっている。精神障害者の特徴として、一般的に身体的な老化が早く進みやすい傾向にあることが指摘されて、「50代で70代の身体機能」と言われている。糖尿病や高血圧などの内科疾患治療に同行したり、支援が複雑になっている。
- (5)職員の高齢化について、人員体制の円滑な新陳代謝が欠かせないが、世話人や生活支援員の求人応募は活発ではなく、他の職種よりも明らかに少ない状況で、継続的に求人を行う必要性がある。

3 今後について

- (1)個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (2)障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。人員体制の新陳代謝に伴って配属される新たな職員については、特に内部

研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。

- (3)新規入居者の募集について、早期に満室を実現できるように法人事業所の利用者以外にも対象者を広げて、積極的に取り組んでいく。入居者同士のマッチングなど踏まえ、かたばみ寮とぶなの木荘の全体での調整を考慮し新たな利用者の受け入れ態勢を整えていく必要がある。

4 利用者状況(令和8年3月31日現在)

①利用者数(単位:人)

	定員	利用者
かたばみ寮	2	0
第2かたばみ寮	4	4
ぶなの木荘	4	3
第2ぶなの木荘	3	3
合計	13	10

②利用者の特性

年齢構成	60歳代 2名 50歳代 5名 40歳代 3名 平均年齢54.6歳	
在籍年数	20年以上 1名 10年以上 2名 5年以上 3名 5年未満 4名 平均8年7か月	
障害支援区分	区分2	2人
	区分3	6人
	区分4	2人

③利用者の日中活動先(単位:人)

もみじの家	6
あっとほーむ	2
シェスタ	1
就労	1

就労継続支援B型事業所もみじの家事業報告

1 概要

就労支援事業については、箕面市指定ごみ袋の製袋作業を基幹作業とし、合わせて公共施設の清掃作業、リサイクル玩具の袋詰め、市立図書館の資料修理作業、ふりかけ袋詰め作業を導入し平均工賃向上を行った。利用者への支援としては年2回のモニタリングを行い、個々の目標や取り組みを検討し、就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 日中活動及び就労支援事業

令和6年9月から就労継続支援 B 型事業所へと事業移行を行ったが、利用者からのニーズにより希望の多いプログラムを月1回程度残した。しかし、事業移行前と比べ作業時間が増えた為、利用者の体力に合わせた作業内容と作業時間を検討する必要がある。

(2) 個別支援計画

個別に面談を行い個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な支援の検討を行った。

事業移行に伴い、長期・短期の目標を見直すことで新たな課題を見つけることができた。就労に向けての支援方法についても見直す必要がある、

(3) 利用者の状況

長期にわたって利用できていない利用者について送迎ポイントを利用しやすい場所に変更する等、配慮しているが安定した通所に繋がっていない。併せて架電による近況確認や関係機関と連携をとり、利用再開に繋がる支援が必要である。利用回数についても契約時より増加できるよう促していくことが必要である。

3 今後について

作業時間が増えたことにより既存の箕面市指定ごみ袋製袋作業、リサイクル玩具の袋詰め、市立図書館の資料修理作業に追加し、ふりかけ袋詰め作業を導入したことにより支給する工賃の増加を望めるが、利用者が高齢化する中で作業料増加については利用者の取り組みやすい内容や配置を検討する必要がある。新規利用者については関係機関等への周知活動を行う。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入:生活介護(令和6年4月～8月)

就労継続支援B型(令和6年9月～)

事業内容	7年度	6年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋)	1,455,828円	1,342,752円	108.4%
その他(自主製品等)	1,328,474円	768,121円	173.0%
計	2,784,302円	2,110,873円	132.0%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

7年度	6年度	対前年度比
23,660円	15,789円	149.9%

(2) 日中活動プログラム

①主な日中活動プログラムの活動実績

プログラム	年回数	概要
ミーティング	12回	プログラム内容及び施設利用ルールなどについて、利用者に説明したり意見を出し合ったりする。
調理実習	1回	ボランティアグループところの会と利用者が調理し食事する。
映画鑑賞・外出レク・運動	各1～2回	DVDを利用しての映画鑑賞、博物館の見学、稲スポーツセンターで運動等

※上記の他に、運動、菜園、外出レク等

②ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	15人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	15人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	12人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	10人

(3) その他の活動

①施設外活動(市内お祭りへ出店参加)

②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、おもちつき)

③息吹交流会

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和8年3月31日現在

項目	7年度	6年度	対前年度比
利用契約者数	23人	22人	104.5%
平均年齢	53歳	53.5歳	▲0.5歳
稼働日数	245日	244日	100.4%
延べ利用者数	2,339人	2,429人	96.3%
1日平均利用者数	9.5人	10.0人	95.0%

令和8年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	B1
男	17	1	13	1	2
女	6	0	6	0	0
合計	23	1	19	1	2

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

調理作業への抵抗感を少しでもなくす取り組みや行動障害のある利用者への支援など、さらなる職員の支援スキル向上が求められている。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

工賃向上について、配食サービスの売り上げ増加に伴って、平均工賃月額を増加できた。

調理作業に1日通って従事した場合には増額する工賃計算方法を導入しているが、それでも調理作業に従事する利用者の減少傾向が続いており課題である。一方で、調理作業とその他作業の隔たりをなくす雰囲気醸成してきたことで、誰もが洗いもの、片付け、盛り付け作業に半日だけでも取り組む利用者が増えてきた状況もある。個々の利用者の特性や希望に沿って作業選択できるよう配慮も重要視している。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題解決のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や協力機関での実習に取り組めるよう促していく。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

(3) その他

日々の現場で、行動障害の特性のある利用者への対応など、経験の浅い職員にとって利用者との関係構築が難しい場面が多くなっており、職員の支援技術の向上がより一層求められている。

今年度も、利用者の意向のもと赤い羽根共同募金の取り組みに参画した。寄附付き商品として、10月～12月の3か月間で弁当1食当たり5円、合計54,940円(10,988食)を寄附することができた。寄附額は昨年度より6,585円(1,317食)増額となった。

今年度は箕面市による運営指導があり、概ね良好の評価を得たが、サービス提供に係る支援記録を利用者ごとに作成するなどの指摘があったため、早急に対応するとともに、法人内の全事業所にも同様に支援記録を作成するよう周知徹底した。

3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていき、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

職員の職場定着に向け人材育成を行い、サービスの質の向上に努めていく。

作業工程については、1階調理場で行ってきた仕込み作業の一部を2階作業として取り組むことで新鮮な作業として取り組みに参加する利用者が増えてきた。役割分担を整理することで、工賃向上へ向けて全員で取り組めるようになってきた。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	7年度	6年度	対前年度比
配食サービス事業	21,093,000 円	18,030,000 円	117.0%
自動販売機管理	74,540 円	81,920 円	91.0%
受託事業(もみじの茎切り)	0 円	50,000 円	0%
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	1,000 円	0 円	-%
その他(印刷など)	43,441 円	109,391 円	39.7%
計	21,211,981 円	18,271,311 円	116.1%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

7年度	6年度	対前年度比
43,221 円	39,407 円	109.7%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	7 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	15 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	16 人

(2) その他の活動

- ①施設外活動
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、おもちつき)
- ③余暇活動(忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④専門指導研修(調理師による利用者向け・職員向け講習会)
- ⑤息吹交流会

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和8年3月31日現在

項目	7年度	6年度	対前年度比
利用契約者数	24人	28人	85.7%
平均年齢	44.7歳	44.4歳	+0.3歳
稼働日数	245日	244日	100.4%
延べ利用者数	3,262人	4,178人	78.1%
1日平均利用者数	13.3人	17.1人	77.8%

(2) 障害者手帳所持状況

令和8年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	2級	3級	A	B1	B2	身4	身5	重複
男	13	10	1	1	1	0	1	0	1
女	11	4	3	1	0	4	0	1	2
合計	24	14	4	2	1	4	1	1	3

就労継続支援B型シェスタ事業報告

1 概要

就労支援事業については、新商品等を増やすなど売り上げ向上を強化したが、それ以上に原材料の高騰が進み、一部の商品の値上げを行ったことで、若干の増収に留まった。今後はさらなる商品開発や販路拡大に力を入れる取り組みと利用者の新規契約者増加に向けた対策が必要である。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

販売先については、学校以外の一般企業等への販路拡大に取り組む必要がある。昨年度に引き続き、箕面市ポートルース事業局より優先調達事業として焼き菓子の注文を受注できたが、継続した注文を受けられるよう生産力向上にも努めていく必要がある。

焼き菓子製造作業に慣れない利用者が増えているため、慣れている利用者に作業の負荷がかからないよう工夫が必要である。そのため、製菓専門のスタッフを雇用し、生産量の増加や新商品の開発につながるよう努めた。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

(3) 利用者の状況

他の事業所へ利用者が移行したり、親の介護等で通所が難しくなった利用者が増え、契約者数が伸び悩む状態が続いているうえに、精神症状の不安定さによって短時間利用の利用者が多いため、安定した事業運営が難しくなっており、利用者の確保が大きな課題となっている。

一方で、目標に向けて体力作りや生活のリズム作りが順調に向上している利用者もあり、販売先も再開できたところも増えたことで、意欲的に販売に取り組めた利

用者もいた。

3 今後について

原材料の高騰により、今年度から価格の改定をせざるを得ない状況となっている。菓子を入れる袋やシールなども値上げが続いているため、ラッピングの簡素化にも工夫が必要な状況である。利用者については、一般就労や他の事業所へ移行した利用者に加え、50歳代以上で体力低下しつつある利用者の利用日数減少もあるため、安心してやりがいのある事業展開を行い利用者の確保に努めていく。

新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	7年度	6年度	対前年度比
焼き菓子販売	4,635,294 円	4,531,866 円	102.3%
委託事業(チラシ折り等)	234,000 円	100,000 円	234.0%
計	4,869,294 円	4,631,866 円	105.1%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

7年度	6年度	対前年度比
27,329 円	27,160 円	100.6%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	12 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	13 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	10 人

(2) その他の活動

- ① 施設外活動(市内小学校イベント参加、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、おもちつき)
- ③ 余暇活動(なかよし会等)
- ④ 息吹交流会

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和8年3月31日現在

項目	7年度	6年度	対前年度比
利用契約者数	16人	15人	106.7%
平均年齢	47.3歳	41.8歳	5.5歳
稼働日数	245日	244日	100.4%
延べ利用者数	2,671人	2,510人	106.4%
1日平均利用者数	10.9人	10.29人	105.9%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

令和8年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	A	B1	B2	身3
男	8	0	5	2	0	0	1	0
女	8	0	4	0	1	2	0	1
合計	16	0	9	2	1	2	1	1